

---

# ありえない、本当の話 その3. F X

渢 かある

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ありえない、本当の話 その3・FX

### 【Zコード】

Z4503E

### 【作者名】

渓 かおる

### 【あらすじ】

キャッショバックに釣られ、友人達に唆された主婦の運命はいかに。

ありえないのか、あるいはなのか、未だ判らず。

いつものように、朝のPCメールをチェックしていた時、フト目にて留まった、

とあるネットバンクからのメルマガ。

いつもなら、そのネットバンクからの発信というだけで、内容を見もせずに削除する。

しかし、今朝はメールの受信数が案外少ない事もあって目を通した。

キャッシュバック・キャンペーン中とか。

何のキャッシュバック?

FX・・・?

要するに、今月末までに新規口座をつくり、5万円を入金、そして取引。

そうすれば5000円が貰えるらしい。

胡散臭い話である。

そういうえば、私の少し風変わりな、かなり年上の友人が、今朝早く、いつものようにけたたましくチャイムをならして玄関前にいた。

寝ぼけ眼のまま、出ると、「この聞言つた、FXしてんの?」と唐突に聞く。

「エ、まだだけど

「早く始めなさいよ」

「ん~調べてみたけどよく解んなかつたから」「始めれば自然と分かつてくれるものなのよ」

「ふ~ん」

「早く、始めなさいよ、じゃあね。」

今から、ボイストレーニングにいくのよ

「え~ボイストレーニング?」

「そう、コーラスの先生が紹介してくださいたの」

「ふ~ん」

寝ぼけ眼のまま、自転車で立ち去る彼女の後姿を見送った。

疾風のように現れて、疾風のように去っていく  
まるで月光仮面。

どこの誰かは知つてはいるが。

彼女の言つてたあのFXか。

株も彼女に勧められた。

丁度良い時期に始めたらしく、素人の私達は楽しいひと時を過ごした。

私は、得た利益をサッサと銀行に移した。

彼女は、どんどん株につき込み、今これだけ儲かっているからと、  
利益の確定もしないまま、彼女の指には大きな宝石が光った。

私は私の小遣いで株を始めた。

彼女は夫に内緒で、夫の退職金を注ぎ込んだ。

色々不思議な彼女ではあるが、彼女の言葉にいつも嘘はない。  
社交辞令がない所が好きだ。無駄な会話は苦手である。

彼女は証券会社からの電話で株の売買をする。  
私はインターネットでの売買以外はしない。

そうだ、彼女はＰＣをしないのに・・・FXをしているのか?  
FXも電話や窓口でできるのかな?

直ぐに調べた。

システム障害時のみ、電話による注文を受け付けるところはある  
が、  
常時、電話でのFXは無理なようだ。

携帯電話でのFXならいくらもあるが、彼女は未だに携帯を携帯  
していない。  
どうなのか、よくわからない。

そんなこんなで、フト、FXの口座を作ってしまった。

只、5000円のキャッシュバックに魅せられて。

FXを取り扱っている会社も全く調べてはいない。  
要するに、あまりFXをする気がないのだ。

かなり年下の友人もFXに興味があると言っていたのを思い出した。  
彼女は、口座開設だけで取引もしないまま5000円を貰つたと言  
つていた。

流石、若いだけあって要領がいい。

色々詳しく、インターネットで申し込みを済ます。

その後、書類が送られてきて、身分証明の書類のコピー等をFAX  
で送り、

手続き完了の書類が送られてきて、初めてFXの口座を持つことなどが出来た。

結構面倒である。

きっとこのFX会社は外資系である。

なんか愛がないように感じる。

とても事務的。

当たり前の事だ、FX > Foreign Exchange > 「外国為替保証金取引」

に愛を求める私がおかしいのだ。

暗中模索とはこのことである。

今だに、FXに関する本さえ読んでいない。

FX > Foreign Exchange > 「外国為替保証金取引」  
この言葉、漢字をみて理解している程度だ。

以前、外貨預金はしたことがある。

20万円分を米ドルで預けてはみたが、延々と下がり続け待ち続けて、数年後に数千円を利益として受け取った。

株に比べて、面白い味の無い商品だつた。

株も最近は、全くである。

あまり動かないのと、面白くない。

FXはどうなのか？

相変わらず分からぬ、PC上の操作さえもよく分からぬ。

言葉をネットや？で一つ一つ調べながら始めた。

取引証拠金？有効証拠金？維持証拠金？余剰金額割合？

ポジション情報？既決済ポジション？通貨の略語なん？  
本当に何にも分からない。

でも気にせず、先ずは買ってみた。

2008年5月1日NZD/JPY 10000ドル買値 81.04  
維持証拠金 20000円

そして、売った。

2008年5月2日NZD/JPY 10000ドル売値 81.24  
総差損益 2000円

なんだ、簡単！

もともと5万円でよかつたのではあるが、一応10万円を入れていた。

全部無くなつても10万円だ。

誰が言つているんだ？

きっと私ではない？・・・？

色々、勉強してみよう！と少ししづつ嵌つていった。

株はしているので、チャートと呼ばれる表は何となく分かるような気がした。

チャート内に加えて表示される「データー」。

インディケーターの追加をしてみる。

単純移動平均と線形加重移動平均。

フムフム、何だかチャートらしい雰囲気が醸しだされてきた。

ホ～この線とこの線がこんな形になれば、値上がりしてこんな時は下がるんだ。

一人、研究に研究を重ね、どんどん分かった気になって取引を進める。

いずれにせよ、元手が10万円があるので、1回の利益目標は2000円と決めた。

チャートを分かった風に見つめ、知識無き空洞の頭で考え、分析したつもりで買った。そして売った。

|                         |     |   |           |   |
|-------------------------|-----|---|-----------|---|
| G B P / J P Y 1 0 0 0 0 | ポンド | + | 2 0 0 0   | 円 |
| U S D / J P Y 1 0 0 0 0 | ドル  | + | 2 0 0 0   | 円 |
| C A D / J P Y 1 0 0 0 0 | ドル  | + | 3 0 0 0   | 円 |
| N Z D / J P Y 4 0 0 0 0 | ドル  | + | 1 3 2 0 0 | 円 |

5月1日に始めて、2日には実利21200円

直ぐに、20000円を元のネットバンクに戻した。  
案外、使えるかもと思いつつ、原油先物で世の中が妙に蠢いているのと、同じものを感じた。

こんな訳のわからない商品、世の破滅を感じる。

必要の無い外貨を売買する訳である。

問題山積の中、勉強の意欲は湧いてきた。

この後の惨劇は、知る由もなし。

{ To be continued }

あつえないので、あつえるのが、未だ判りや。 (後書き)

これは小説であり、FXをお勧めするものではありません。

## 友人からの電話。

今朝、8時前から電話が鳴った、あの年上の彼女だった。

開口一番、

「今朝トイレに行つたら、丁度トイレの洗浄剤が切れていって水が青く無かつたのよ。」

「ふうん。」

としか言いようがない。

朝一番にする会話か?と思いつつ受話器からの言葉を待つた。

「少し、ほんの少しなんだけど、トイレの紙に赤いものが付いてたの。」

病院に行つたほうがいいかな。」

不正出血といえるほどでもないような気がするが、こんな時に、病院に行かなくても大丈夫とは言つてはいけない事は常識である。

医療従事者の端くれの私だ。

私は結婚前に大学病院で臨床検査技師をしていた。結婚後は薬剤師として、少しの間だが働いた。

そんな私と知つて、彼女は電話をかけてきたのだろう。

「一応病院に、がん検診を兼ねて行ってくれば」と返した。

彼女は

「IJの間、そろそろ先月にたかし先生の所で、  
子宮がん検診を受けたばかりなの、  
だからやつぱり、もう行かなくていいかな?  
結果は何にも無いって言ってたし」

「子宮がん検診って、頸がんの検診だけで、  
子宮体がんの検査はしていないでしょ?」

「え~普通に検査して貰つただけだけど」

「お金は払つた?」

「払つてない」

「それなら、体がん検査まではしていないわ

「そなんだ」

「丁度、トイレの水が透明で判つたんだから、  
神の思し召しと思って行ってくれば?  
たかし先生のところではないほうがいいと思つけど」

「どうして」

「私、去年はたかし先生の所で子宮がん検診受けたんだけど、  
なんだか検診すればいいのでしょ!って感じで  
真面目に検査してくれている気がしなかつたの、だから」

「そなんだ、それなら何処がいいの」

え~そこまで私が考えるのか・・・

「う~ん、私は今年は中病院に行こうかと思っているんだけど、  
あまりにも評判が悪いから何とも言えないんだけれど。  
何だか、今改築をしていて、産婦人科には本当に力をいれているみ  
たいなの。」

それと、昔あそこで子宮がん検査をした時に、

担当の先生が超音波や体がん検査もしてくれたから

・・・でもその先生の感じの悪いこと極まりなかつたわ

「え~どうしたの?」

「何だか私のことを絶対に子宮がんだと思っているみたいで、超音波もした方がいい、体がん検査も必要だから

お金はいるけどしておきなさい、結果は郵送にしないで必ず聞きに来るようについて、そこまで言つてて。

結果は何にも無いって。

でも結果を聞き終わつて帰るときに、今は癌が見つかなくとも、これから出来るかもしないから検査をするようになって、いわれた

の

「本当に感じ悪いわね、正しいけど」

中々面白い返しだ、確かに正しい。

そしてその分、むかつくのだ。

「でも、今回はそれ位一生懸命というか、しつこいといつか、そういう検査漬けにしたい病院がいいと思うから」

「ふ~ん、それなら中病院に行ってくるわ」

彼女は素直である。

電話を切つたその足で、すぐ中病院に向つた。

そして、中病院の医師は、やはり丁寧に丁寧に検査を重ねてくれた。

その結果、しっかりと子宮体がんが見つかつた。

とても小さい癌であつたが60歳を超える友人であるので子宮全摘出の手術と決まり、

現在は大学病院の入院待ちの日々である。

最初は少し落ち込んでいたが、色々良い形の結果がでたのと、大学病院の入院待ちという点が案外彼女を安心させている。直ぐに、入院手術と言わない病院の態度に、自身の癌が緊急性不要と判断されたと思っているのだ。

何れにせよ、何だか落ち着かないが待つしかない。

彼女はそれから、よく私の家を訪ねるようになった。私の家に立ち寄って、少し玄関先で立ち話をして帰つて行く。いつも訳のわからないものをくれる。

この間は化粧下地をくれた。

妹に買ったのだが、妹にいらないと断られたとのこと。妹曰く、下地なんて色とか色々あるんだから自分で買う、との事。私もそうだと思ったが、喜んで頂いた。

今朝も彼女の、けたたましいチャイムが鳴った。  
玄関を開けたとたん

「FX始めた?」

「うん、この間キャッシュバックのキャンペーンをしていたから  
口座は持つたんだけれど

「どう?」

「ウン、今はいい感じ、ビギナーズラックかな」

「やつぱり

「やつぱりって?」

「あなたなら出来ると思ってたの」

何の根拠があるのか判らない。

「私はFXはしていいんだけど・・・難しくて分かんないから。でも、あなたなら大丈夫」

「何が大丈夫なんだろう、彼女はいつも何の根拠もなく決めつけるところがある。」

しかし、彼女にはよほど良い守護霊でもついているのか、何が起こってもうまく切り抜ける不思議な力が備わっているのだ。あつ、やっぱり彼女自身はFXをしていないんだ。やっぱりと思いつつ驚いた。

彼女はFXに興味津々である。

それからは立て続けにFXの事を尋ねてきた。

「それで、FXって何なの？」

「要するに・・・FXってのは Foreign Exchange の略で・・・」

「それなら、FXじゃないの？」

確かに、鋭い。

「マジ? そうなんだけど、FXにしたんだって、  
Forexフォレックスとも言つとか」

「そりなんだ、それで何FXって」

「日本語に直すと、外貨為替保証金取引。 そうそう、かなり前だけど、貴女がハワイに行つたとき、1ドルが100円だったから

凄い円高で得したって言つてたでしょ」

「そうそり、主人や子供達がそういうから喜んでいたけど、実のところ、あんまりよく分かつてないんだけど。」

「だから、いまだつたら107円位・・・少し前までは120円と

かいつてたのにね

「それで？」

「今1ドルを買ひついで107円いるんだけど、あの時は100円で買ったの、

例えば家族みんなで行つたから少なくとも50万円のお小遣いを持つていくとすると、

計算が難しいから100万円持つてつて

「そんなにいらぬいから」

「いいから・・100万円をドルに変えると、1万ドルになつたんだけど、

今だと9345ドル位にしかならないの」

私は携帯で計算しながら答えた。

「ふうん、ハワイとFXは何の関係があるの？」

「米ドルに限らないんだけれど、色々な国のお金を

日本円やその他の国のお金で買つときには、

そんな風に為替の差益が出ることがあるってこいつじゃ。

だからもし今1ドルを107円で買つて

120円になつた時に売つたら13円利益になるってこいつじゃ。

100円になつたら7円の損ということ

「でもそんなにチョチョコお金の値段で変わらなによね、何だか細かいね」

「そう、そこでレバレッジってことが出てくる駄

「レバレッジ? もういいわ今日は

後ろを振り返ることもなく、自転車の月光仮面は去つて行つた。

今日のお土産は、食パン1本・・・3斤位はある・・・でかい。



## 実践ロスカット。

今日は朝から何の予定も無かった。  
私にとっては、案外珍しいことである。

忙中の閑・・・ハテサテ何をしましょつか。

そうそう、あのFXの勉強をしてみよつと想つた。  
少し、投資をして。

色々・・・学ぶ前に実践あるのみ！  
妙な考えではあるが、石橋を叩いて叩いて叩き割つていても  
仕方はない。

暗中模索の中。

ビギナーズ・ラックに背を押され。  
無知の「恥」探しの旅に出た。

先ずは操作に慣れなければ。  
そして、取引通貨の実態は。

私の始めたFX\*社は、取り扱い通貨の組み合わせが非常に多くあ  
つた。

1万通貨を買うのに、維持証拠金として2万円がいる。

初めて判つたのだが、このFX\*社では実際の手持ちの金額の約5  
0倍の

通貨を買えることになる。

このFX\*社において、レバレッジといつ詰葉は出でこない。  
中々怖い世界だ。

レバレッジとは、直訳すると「てこの力」

少ない元本で、てこの力を借りて、何倍もの取引をするというもののだ。

全くの無担保で、そのようなことが出来る訳はない。

そこで生じるのが、保証金である。

この保証金を担保として、実際の取引金額の大きさの倍率がレバレッジとなる。

ここまで学んで、アレ?これって信用取引や先物取引みたい・・・と思つた。

よくは知らないが、怖ろしいものだとは聞いている。

まジアレコレ言つても始まらないので、何か買つことにした。  
1000円2000円と細かい利益もつまらないので、  
先ずはユーロを日本円で2万ユーロ買ってみた。

これが間違いの、大間違いの始まりだった。

今、私の元手は10万円。

それなのに、2万通貨を買つたのだから、保証金>FX\*社では維持証拠金という>

は4万円。

確かに買えるのだが、余剰金額は6万円しかないことになる。

1ユーロ162・88が159・72になつた時点でロスカットとなつた。

確かに、162・88・159・72=3・16

$3 \cdot 16 \times 20000 = 63200$

確かに、損益は-63200円となり余剰金額を超えた訳である。

そこで登場するのがロスカット。

私のようなお馬鹿が、手を出した時にFX\*社が損をしないように

た

考えられていいだ。

-63200円は余剰金の6万円から出され、残りの-3200円は保証金から引かれるのだ。

うん、うん中々よくできたシステムである。FX\*社にとっては。

その時は未だ、何も判らぬ私。

訳のわからぬ、警戒音がなり、英語の画面が突如現れる。全て英語だ。

1行も読まぬまま、×で閉じる。

維持証拠金が0と表示された。

画面から時々刻々と表示されていた、一切の情報が消えた。

何かをしなければいけないのかも、と思いFX\*社に電話をかけた。

若い男性が応答にでた。

名前も聞かなければ何も聞かない。  
うろたえて何かを聞いたかつたが、言葉がわからない。

「維持証拠金額が0になつたんですが

男性は静かに冷たく「ポジションはありますか」と尋ねた。

「ポジション?」

「ポジション情報の欄にポジションの表示はありますか  
あつた!ポジション情報と書いた窓が・・・

「何もありません」

「じゃそれでいいんです」

「・・・・質問する言葉がわからないのだ。

ロスカットに關してはおぼろげに、契約の書類にあつたので  
マア、そんな感じのことが起こつたのだらうと納得して、電話を切  
つた。

その時、如何に自分自身が「恥」であるのを知つた。

やはり、少しほは勉強をしょう。

そこで、又・・・実践あるのみ。

・・・全く反省の色が無い。

そして、色々買つた。  
ことじりとく下がつた。

見事に買つたものが下がるので、  
色々売つた。  
見事に上がつた。

PCの操作ミスで、買つたり売つたり訳がわからない時もあつた。

クリックの場所を間違えて、違う通貨を買つていた。  
訳のわからぬまま、しかし実践あるのみ！

自分でも訳のわからぬ奴だと愛想をつかしつつ売買した。

全て、殆ど全てでマイナスとなつた。

ここで初めてFX\*社を調べなければと思つた。

ネットで調べると、あまり好印象はない。

酷いのになると、入金はネットで出来るが出金はできない。  
これに関しては既に2万円を出金し確認もしているので、  
思わず笑ってしまった。

その他にも信じられない書き込みを多く見つけた。  
そして田を瞑つた。

結果を見ると、あつという間に資金も追加し、そして  
大きなマイナスなつていた。

ここに思つたこと。

私が嵌められている?

もしかして、これはバーチャルで遊ばれてる?  
手の込んだ、茶番か?

真剣に考えて、チャートの動きを検証したほどである。

いくら評判の悪いFX\*社でも、流石に私一人だけに  
かまつてはいられないようであった。

・・・・当たり前だ。

悲惨な闘いの全貌

>取引通貨 >>取引額 < >月</日< >>スワップポイント()  
>SP( )を含む純差損益 >  
>EUR/JPY <> 20K <> 5/7 <> 5/8 <  
>-62-270 <> SP930 <





1週間強で結局￥112、214のマイナスとなっていた。

スワップポイントとは、金利の異なる通過の売買によつて発生する、金利差調整分のことだとか。

上記最初の一口は、2日で渡つての取引となつたので  
その間にスワップポイントが発生したようである。

ここまで来ると、「恥」は私自身だ。

流石にFXには、全く向いていないと実感した。

↓ To be continued ↓

## 神の啓示か否か。

あつと云つ間の惨敗に、FX敬遠の日々が続いた。

もう止めよう。

やつぱり、怖ろしいものである。

「人間、額に汗して働かなければいけない。」

そういえば、年上の友人が株のプチバブル崩壊後に  
よく口にしていた言葉だ。

本当にその通り。

PCをシャカシャカ触つて、それでお金を手にするなんて  
もっての他。

FXはもう止めよう。

自身の限界を知るつ。

所詮、ビギナーザラツクだけの運しか無かつたのだ。

自身を知ることは大切だと・・・フムフムと一人考えていた。

BGMのように、テレビでは有名な、脳学者が熱弁をふるつてゐる。

「学びには限界が無い・・・『オープンエンド』・・・  
学習は無限大・・・」

私へのメッセージ?

限界を感じた時点で、成長が止まり、可能性が失せる。

限界などないのだ。

更に学べ FXを！

・・・・と聞こえてしまつた。

今日は久々に、ウサギの英会話学校に行つた。

かなり長く通つてゐる。

しかし、英語はさっぱりである。

でも、限界を感じず、ダラダラと通つてゐる。

英語は向かないようだが、たまに・・・忘れた頃に通つてゐる。

色々問題多発のウサギの英会話学校だつたが、  
消滅することもなく、何とかやつと落ち着いて、  
授業を受けられるようになった。

教室で久しぶりに、年下の友人につつた。

FXの口座開設のみで、5000円を得たあの彼女だ。

彼女と私は一回り程も歳が違つ。  
ふたまわ

そういうえば、年上の友人とも一回り程の年齢差がある。

面白い友人達である。

年下の友人はBookworm、本の虫である。

色々な本を貸してくれる。

次回、いつ会うかも分らない私に。

最後にあつた時に貸してくれたのが、

「金持ち父さん、貧乏父さん」

面白かった。

私には対極にあった経済への、興味の必要性を学んだ。

今日、やっと本を返すことができた。

返したとたんに、彼女は1冊の本を唐突に差し出した。いつものことである。

「ドクター田平の株よりローリスク！ 1万円からできる外貨で3000万円儲ける法」

帯には「わかりやすく儲かる FXの入門書」とある。

彼女曰く、「理系なので、ドクターの書かれた本は、読みやすくて、よかつたと思うのですが、先輩も読まれませんか」とのこと。

そうだ、彼女も薬剤師だった。

私は、彼女にとつては先輩にあたる。

たまたま大学も学部も学科も同じだったのだ。

しかし、一回りも違うとあまり話しません。

あの頃、影の薄い先生が学部長になっていたのには驚いたが、その程度である。

久しぶりの英会話に疲れたが、彼女がいてくれたので助かった。私がオロオロしていると、何気に助け船をしてくれる。

帰宅しながら考えた。

又、FX？

聞けば、年下の彼女も未だに取引はしていないとのこと。

みんなで寄つて集つて何たか？

私を足がかりに、FXを始めるつもりなのか。  
私がお毒見役なのか。

しつかり、毒を食らつて痺しびれている今の私である。

はてさて・・・これからどうある。

神の啓示とするか否か。

↓ To be continued ↓

沢山の本を買つてきた。

勉強しますFX。

今度は眞面目に挑戦するがどうか。

参戦すべきかどうか、じつづつ一晩(?)考えた。

整理して考えたいと思つ。

感情論や感覚論、そして予測、思惑は省く、  
事実の羅列に努めることにする。

FXの特徴は?

その1は・・・株と違つて倒産する」ことが殆ど無こと。

その2は・・・値動きの幅が基本的には少ないこと。

事実で、分りやすいのは為替に関する、この2点だと感つ。

その3・・・レバレッジが使えること。

少ない資金で大きな外貨の売買ができる。

その4・・・「コモリット」、「ストップ」という指値注文が自在に出来ること。

「コモリット」とは前もつて利益の出る値に注文を出しておくこと。  
「ストップ」とは前もつて限界と感じる値に注文を出して、

更なるリスクを負わないようにすること。

これによって損失を一定の額で抑えることができ  
ロスカットのような目に会わなくてすむ。

この2点はFXの取引の特徴の事実だ。

あまり多くのポイントを羅列せず、この4点で考えてみたいと思つ。

上記の4点から導きだした私のFXへの参戦法。

そんな大袈裟なものでもないが、

私の考へで再度挑戦してみたくなつた。

私の読んだ本とは真逆のような感はあるが・・・。

投資の基本の基本。

自己責任で参戦するしかない。

他人の書いた本の通りに戦えるわけも無い。

負け続けているので、しつかりと戦う覚悟で参戦。

私のFX参戦法。

とても簡単、明瞭、明確。

上記の4点のみで考えたのだから。

倒産しない、値動きの幅が少ないという2点で

私は、先ず、とても元氣で、病気にかかりにくい健康優良児を探す  
事にした。

通貨の組み合わせを色々かえて、すべての組み合わせから一番すぐ  
すくと

着実に成長している、元気な子を選ぶ。

チャートを探しに探す。

月足のチャートを見て、緩やかに右肩上がりの健康優良児を。  
とは云つても、株程沢山の銘柄がある訳ではない。

国単位であるので、有る種の常識での判断もできる。

日本や中国、アメリカ等・・・身近な国も多い。

情報は、無意識の間にもマスク<sup>マスク</sup>によつて叩き込まれる。  
ネットでの検索も容易だ。

株とは雲泥の差がある。

株での情報は、危険を孕む場合もある。  
ひな

安定している国を選びたい。

私は、激動を縫つて縫つて闘い抜くほどの知識は無い。  
月足、週足、日足、・・・と感覚を狭めても出来るだけ安定感の  
ある子を選びたい。

急に熱をだしたり、入院したり、元気溌剌に飛び回つたりしない  
真面目で堅実に生きる、健やかな子を探したいのだ。

そうして、日々の機微の中に埋もれる、  
生理的な熱の上下のような、そんな僅かな差を大切に  
大きく咲かせたいと田論<sup>もへう</sup>んでいる。

更に、スワップポイントもプラスである<sup>ひつ</sup>、  
安全策に徹したいと思つ。

健康優良児でも、風邪くらいはひく。

麻疹やおたふく風邪で寝込むこともあるだろ<sup>う</sup>。

インフルエンザにかかることも無いとはいえない。  
そのような場合の、長期に渡る体調不良後も、  
徐々に回復できる基礎体力のある子を探したいのだ。

はつきり言つて、損切りさえもしたくない。

既に、お毒見役として痺れているのだから。

色々、調べて。

CHF／JPYを選んだ。

CHFはスイスフラン。

「Confœderatio Helvetica Franc

の略でCHF

「Confœderatio」はラテン語で連邦の意味。  
スイスの正式名称はスイス連邦なので納得。

「Helvetica」はスイスのラテン語名。スイスの切手には  
こう書いてあるそうだ。>

JPYは「Japan Yen」の略で、日本円。

この二つの通貨の組み合わせのチャート（月足）を調べると、20  
00年の中頃から

現在に至るまで綺麗に健やかに成長し続けている。

このCHF／JPYの組み合わせを簡単に呼ぶ為に  
スイスフランと日本円でふっこちゃんと私は呼ぶことにした。

ふっこちゃんは私の心沁みる大切な親友の名前だ。

勿論、口に出して呼ぶものではない。

ふつこちゃんでは面倒なので「ふつこ」にした。

ふつこはとても健やかに育つている。

ふつこの特徴は有事に強いとされている事。

その他には、AUD/USDこれは、単純にオーストラリアドル（とアメリカドル。

この子も2001年の中頃から、比較的順調に育つている。

この子は○次郎。

○次郎の特徴は高金利。

しかし、ふつこに比べると少しやんちゃだ。すこし基礎体力にも欠けるような気がする。

この一人で参戦することにした。

参戦の仕方は、レバレッジを最大限利用して少ない利幅での勝負。

FXだけで生きていく気はないので、きちんと「額に汗して働く」為に「コミット」「ストップ」を売買した時点で設定する。

以上。

これだけの考え方で参戦することにした。

もう遊びのつもりはないので、この間、保険の満期で降りた100万円から

50万円を入金した。

最初に入れた10万円と途中で出金した2万円。  
その後、2万円を戻し、1万円を入金、更に5万、7万円と追加している。

結局、いくら投資しているのか。

$$10 - 2 + 2 + 1 + 5 + 7 + 50 = 73$$

既に多くの負けはあるが、元本は73万という事になる。

先ずは、73万に戻すことが先決である。

世の中そんなに甘くないような、あるような。

ありえないのか、ありえるのか、未だ判らず。

{ To be continued }

私の考えた形で参戦してみることにした。

とはいって、チャートはきちんと見なければいけない。  
少なくとも、上がりきつてこる時に買つ」とはない。

人の体温は睡眠と共に下がり始め、覚醒と共に徐々に上がる。  
寝前には、体温はしっかりと上がつてこる。

ふつじ（エフ／ロイヤ）にも当てはまる。

しっかりと熟睡して、体温が下がつていいそんなチャートの時に買つこととする。

1分足のチャートと、同じ様に時々刻々と変化する「ジタル表示の取引レートを見ながら成り行きで買つ。

基本的に、全ての情報を使つてなせる訳はない。

基本的な指標として、色々と使いやすいものを組み合わせて使う。

私は、株の時の経験でチャートはローソク足を使つ。  
ローソク足からの細やかなメッシュージは勉強はしているがそれが全てではないことも実感している。

だからといって、知らなくてよことつものでは無い。

ローソク足の基本をきちんと学んで、その動きの意味を自身で判断するしかない。

専門書には、<sup>まじか</sup>実じやかにローソク足の更なる分析が書かれている。

嘘ではないが、それだけではないことも知らなければいけない。

FXの本を、色々読み進めるうちに、株の勉強をしていく時の事を思い出した。

真剣に本を読み、信じて取引したが、本に書かれている全てのことと、書かれていない多くのことを加味して考えなければいけないことを学んだ。

私はチャートに、次の指標を追加した。

MVA（単純移動平均）・LWMA（線形加重移動平均）・  
MACD（移動平均の収束・拡大）・ボリンジヤーバンド。  
・・・詳細は専門書に譲ることにする。

私のPCは徐々にFX仕様と化す。

テクニカル分析を無視することなく、気にすることなく。

後は感性で自分なりに、心が動いた時に買った。

直ぐに、「リミット」を決めてリミットオーダーをする。  
最初なので、1万通貨あたり2000円の利益となるように  
+0・20のレートを入れた。

余剰金額に、ゆとりを持たせて、「ストップ」は設定していない。

痺れた身体に、更なる少しの痺れも感じさせたくは無い。

毒を食らわば皿まで・・・そんな根性は持ち合はせてはいない。

毒を食らった身体には解毒剤だ。

しつかりと、穏やかに効く解毒剤で、

先ずは健全な身体に戻す。

そうすれば、健全な心が宿ることになる。

それから、次の一手を考えたい。

様々な言葉は、FXのそれぞれの会社によって異なる事が多い。  
それぞれで使われる言葉の意味の確認と理解はとても大切である。

「ロスカット」にならないよう、あくまで自己管理が出来る形で  
取引はしたいと思つ。

下がつても、下がつてもふつこ（CHF／JPY）を信じる。

余剰金額が無ければ、ロスカットになる。  
余剰金にたっぷりのゆとりを持たせて、  
下がつた時は、更に買つ。  
上がつた時には、売る。

過度の期待はしない。

長い間、下がり続けたとしても、いつか上がると信じて  
その間はスワップポイントを楽しむ事にしている。

その為に選んだ、健全で穏やかな子。

上下する値幅も少ない、大人しい子。

・・・の筈である。

5月23日～6月16日の間。

ふつこ（CHF/JPY）で44回。

○次郎（AUD/USD）で2回の取引をした。

計46回で10万円程の負けは全て消えた。

身体から毒は消え去り、健全な身体に戻った。  
そして、更に免疫も得た。

細かく丁寧に取引をした中には、  
負の取引は一度もない。

ハテサテ、これからどうするか。

今からが、再スタートとなる。

本格参戦するか否か。

本格参戦するのであれば、税金についても学ばなければならぬ。

私や年上の友人の様に主婦の場合と、年下の友人のように  
働いている人の税金。

何気に違う。

FXの収入は雑所得になる。

働いている人の場合は、年間20万円以上の収入が

あつた場合は、確定申告をしなければならない。

専業主婦の場合は38万円以上とか。

主婦の場合は夫からの扶養の問題があり色々と難しそうだ。

38万の収入があつた時点で考えたいと思つ。

取らぬ狸・・・にならないように。

何れにせよ、再スタートするには、色々考えないといけないことが多い。

暇な時に、のんびり小さく、丁寧に、年間38万を目指してするもよし。

扶養も何も気にせずに、猪突猛進。水を得た魚と・・・勘違いをするか。

中々難しい選択ではある。

その後は6月16日～20日までの差損益は +52,849円

1日の取引回数は0～7回程度。

相変わらず、負の決済は一度もしてはいない。

私にとっては、この事はとても大切なことだと思つたが・・・。

相変わらず暗中模索ではある。

}  
To  
be  
continued  
;

## 伝えることの実と嘘。

ピンポン、ピンポン、ピンポン。

いつものように、チャイムがけたましく鳴った。

きつと年上の友人だ。

案の定、彼女が自転車に跨つたまま、玄関にいた。  
またが  
徐に、自転車から降りながら、  
おもむろ

「いたのね、車が無いからいいのかと思つたわ」

車は丁度、車検に出していたのだ。

「よかつた。はい！」

朝から、日本酒の一升瓶を手渡された。

「え～。どうしたの」

「飲んで。お父さんは、最近は焼酎ばかりで、日本酒は飲まない  
から。

お正月にもうつたんだけど、未だ大丈夫かな？ダメなら料理酒として使つて。

飲むでしょ！」

「何でも飲むけど・・・いいの？」

「ね！飲むよね・・・よかつた、じゃあね」

月光仮面は自転車で走り去った。

朝から、日本酒を抱えて呆然と玄関前に立つてはいる私の前に再び月光仮面は自転車で現れた。

「FXは、その後どう？」

「初めは少し良くて、その後酷い目に会つて・・・」

「今は？」

彼女は上手く、合いの手を入れる。  
私が酷い目に会った件は、彼女にとつては不要なのだ。

「今？　今は、結構安定感があるような感じがするよ。・・・  
そんな気がしてきている所かな？」

「ふうん。そうなんだ。やっぱり。

良いくつてよく聞くんだけど、やっぱり良いんだ。」

そんな単純なものでも無いような気もするのだが。

「それで、何処のがいいの？」

「何処のがつて？」

「何処の会社のFX？」

・・・少し言葉に詰まる。

彼女は携帯電話は持っていないし、パソコンもしないようだから。

「あの・・・FXって携帯電話かパソコンでしか  
出来ないみたいなんだけど・・・」

彼女からこの質問をされるのは想定内だ。

FXを始める際、直ぐに電話で出来るFXを調べていた。  
とある電話会社のHPに「電話・携帯でのFX取引」という項目があつたので、出来るのかと思つたがよく調べるとシステム障害時の  
みとの事。

「やうなんだ、じゃッ

彼女にしては珍しく、少し、トーンダウンして去つた。

アツお酒のお礼を！と思つた時既に遅し。

彼女は一つ目の角を曲がつていた。

彼女に、私のFXに関するの目論みを伝えることができるのか、全く自信は無いし、伝えたいとも思わない。

株や投資信託、FX等は、友人や知人、親子兄弟であつても勧めるものでは無いと思つてゐる。

友人からの本で、経済への関心の必要性を教わり、友人達からFXの存在を教わり、

そして・・・

今、私は自己責任でFXを覗いている。

♪日々の機微の中に埋もれる、

生理的な熱の上下のような、そんな僅かな差を大切に大きく咲かせたい。♪

というそんな、私の目論みの中。

私は友人達に何を伝えるのか。

伝えることと伝わること。

伝えることと出来ること。

伝えることの意味と無意味。

伝えることの善と悪。

伝えることの実と嘘。

} To be continued ;

## 慎ましやかに。

やつとの月曜日。

FXは、土日は休みとなる。

未だによく意味は分からないが、毎日毎日24時間取引が出来るにも関わらず

土日はちやつかり、きちんとお休み。

案外、取引しやすいシステムになつていて

FX初心者の私としては、色々試してみたいことがある。

待ちわびたやつとの月曜日だ。

しかし、これは中々よい事だと思う、始めたばかりの私としては少し、物足りないのであるが。

土日にFXから強制的に解放されることによつて

勉強も出来るし、休みがきちんと取れる。

家事が<sup>はがど</sup>れる場合もある。

FXに関しては、一体何をどうのよつて考えればいいのか、やはり暗

中模索。

今日は、普段株をしている大手証券会社のFXを見てきた。

既に、株の取引をしているので、FXの口座をつくるのは

とても簡単。

内容は色々驚きの連続。

スプレッドがかなり違つ。

スプレッドとは、通貨間の買値と売り値の差のこと。

手数料無料の会社はこのスプレッドから利益を得ているとか。

私がキャッシュバックに釣られて契約したFX\*社は、  
例えばUSD/JPY(米ドル/日本円)の場合3銭。  
しかし、大手証券会社D社では5銭。

又、取り扱い通貨がFX\*社は23種に対し、D社は米ドル/円、  
ユーロ/円、英ポンド/円、  
豪/円、NZドル/円、加ドル/円、スイスフラン/円の7種。

取引する際の、1万ドルに対する保証金はFX\*社は一律2万円、  
D社は設定するレバレッジによって変化する。  
レバレッジが20倍の場合は5%となる。  
レバレッジは最高が20倍。

もし、ドル/円で1ドル107円で1万ドルを買つと、レバレッジ  
20倍で

保証金は53,500円にもなる。

このなると、余剰金がとても少なくなるので、よほど大きな資金く  
・・私の感覚で100万程<sup>はま</sup>で始めるか、小さく売買するかしない  
と、直ぐにロスカットに嵌つてしまつ。

FXは株ほどの値動きはないとは言え、動く時は動く。値幅に関しては、慎重且つ緻密に自身の取引に合わせての理解が必要である。

その他、ネットバンクのFXも調べてみたが、それぞれかなり違う。

これほど違うのであれば、会社選びの時点で、FXの基本を理解して、自分の投資方法に合ひ所を、選ばなければならなかった。

5000円のキャッシュバックに釣られている場合ではなかつたのだ。

私の場合は、何も知らないで取引を始めたのでFX\*社仕様の取引に私がなつていてることに気がついた。

これでは、友人達に伝えることは、全く何も無くなつてしまつた。

伝えることの実と嘘。

伝えることは全て嘘・・・と化す場合もあると学んだ。

やはり、自己責任でしか投資は出来ないとあまりにも当たり前でつまらない結論を得た。

～日々の機微の中に埋もれる、

生理的な熱の上下のような、そんな僅かな差を大切に大きく咲かせたい。～

ところそん、私の日論もくろみの中。

相変わらず、のんびりと穏やかに、  
僅かな利を大切に、楽しむ日々。

大きく咲かすことは無いように思つ日々。

学ぶことは多い。

そう、あの時、脳学者が熱く語つていたように  
「学びには限界が無い・・・「オープンエンド」・・・  
学習は無限大・・・」

実践に直結した学びには、興味津々である。

テクニカルの本を読みあさる。

テクニカルの一つ一つを、過去のデーターに照らし合わせて  
ため息を一つ。

そして、占いの本を読む。

只今、大殺界とかのど真ん中。  
ため息を一つ。

税金を調べに調べても、よく理解できず。

FXでの利に対し、節税対策は不要。  
確定申告でも何でもする!と叫ぶ。

その叫びを背に・・・、

ささやかな利が

慎ましやかに一つ、一つ、

忘れた頃に咲く。

利を得て、  
損を得、  
利を得た。

仕切り直して9日目。

只今、 +52849円

全ての取引、  
ふつこ（CHF/JPY）と〇次郎（AUD/USD）。  
未だにマイナス決済は無し。

↓ To be continued ↓

## 最終報告。

ウサギの英会話学校に行つた。

最近では、インターネットで予約が取れるの  
でかなり便利だ。

予約も案外スマートに取れる。  
キャンセルも簡単だ。

講師の名も明示されているので、選ぶことができる。

最近は、政治科学とノミコニケーションを大学で専攻したという  
ボブがお気に入りだ。

講師になつてからはまだ、数ヶ月だそつだが上手に教えてくれる。  
自然の会話の中にテキストの内容を織り込んでくれるので、  
楽しく会話が進む。

そんなこんなで、珍しく真面目に通う今日この頃。

小さい教室には、既に年下の友人が座つていた。

1クラスは5名まで。

しかし今日は、生徒2名だけでのレッスンとなつた。  
ボブと友人と私だけのレッスンは、久しぶりに笑いの絶えない  
楽しい会話に終始した。

レッスン終了後、年下の友人にあのFXの本を返した。

実は、この本を私は買った。

読み流す本では無い。

興味ある視点がみえるので、ゆっくり検討したかったのだ。

透かさず1冊の本を差し出す彼女。

今度の本は、「西の魔女が死んだ」

表紙から爽やかな雰囲気が伝わってくる。

作家の梨木香歩の文字と、フルーツ様の落ち着いたイラストが妙に目に合つ。

年下の友人の、上品な雰囲気にも似合つていた。

今流行の普通の小説でホツとした。

特に興味は無かつたが、現在、映画上映中なのでよく耳にするタイトルだ。

彼女から差し出される本。

案外タイトルだけで驚く場合もある。

FXの本もあまりにも唐突で、驚いた。

他には「ドグラ・マグラ」夢野久作の代表作である。

流石に、この本にはカバーがかけてあつた。

色々話もしたいので、昼食に誘つてみた。

今日は夜から病院薬剤師会の勉強会に参加するので、お昼の時間は丁度、空いているとの事。

最近、見つけた瀟洒な中華料理のお店があるので  
そこに行つた。

英会話学校のすぐ裏にある。

中華料理といつても、まるでフレンチのよつこ  
一皿一皿、真っ白な洒落た器で出される。

料理人の熱い思いがこもつた、料理が丁寧に運ばれる。

今日のお茶は安溪鉄觀音茶。

先ず初めに、季節の前菜。

吟味された一品一品、白い方形の皿に点々と  
絵画のように並ぶ。

次に地鶏のサクサクつくね入りスープ。

広東飲茶 海老蒸し餃子。

牛肉とパイナップルのマヨネーズ風味チリソース。

細切り豚肉のザーサイ餡かけ焼きソバ。

肅々と手際よく、気配を消した若い、細身のウェイターに  
よつて、音も無く配膳される。

薄い翡翠色で統一された店内に、ゆつたりとした時間が流れる。

FXの本を、興味深く読ませてもらつたと伝えて、会話が流れ始め、

珍しく、彼女が饒舌に語った。

病院の薬局に薬剤師として勤めている彼女。  
昨日の昼食時に主任がFXを話題にしたとか。

主任は40代後半の女性。

多くの小説を読み、幅広いノミニックも手中にある。  
夫婦仲もよく、高校生の子供の良き母も務める。  
コンサートに興じ、若手俳優の追っかけまでこなし  
新人歓迎会では全て自腹を切る。  
元気溌剌で豪快且つ纖細な女性らしい。

私が言つように、スイスフランの穏やかな上昇に興味があると  
言つていたとか。

待てよ、スイスフランをCHFと表記することは、話題になつた事  
はある。

しかし、スイスフランの穏やかな上昇に關してまでは  
私は彼女に、話してはいない。

彼女は既に、この小説を読んでいる。

確信した。

驚いたが、もともと彼女と年上の友人に宛てた小説だ。  
手間が省けたと思う一方、

何故に？ 既に？

料理から味が消えた。

彼女の言葉も消えた。

全ての動きが止まつた。

・・・解けた。

そうだ、以前、かなり前になる。  
彼女が童話を書いていると聞いたことがあった。  
その時に、このサイトの存在を伝えた。

私のブログやＨＰでもよくこのサイトを紹介している。  
自身の小説の紹介は流石に出来ないでいる。

ＰＣには長なけた寡黙な彼女のこと。

その時既に、このサイトを知っていたのかも知れない。

しかし、何気に、このような展開は想定内だ。  
それ故、ダイレクトにＦＸの文字をタイトルに使つた。

そう、検索しやすいように。

味が戻り、言葉が静かに流れ、  
デザート「楊貴妃の好んだライチのプリンとゼリー」  
が冷たい器に乗つて運ばれてきた。

たわいない話が、甘く緩く咲いた。

帰宅後、ピンポン　ピンポンと  
チャイムがけたたましく鳴つた。

きっとあの、自転車月光仮面だ。

予想通り、年上の友人が自転車から降りて  
真面目な顔をして、洋服も何故かワンピースだ。  
いつもの部屋着のような、ゆったり感は無い。  
何と、ウエストにベルトまでしている。

そうして、手には大手のデパートの包みが抱えられている。  
その包みには、大きな梱子色くわなのリボンがかけられている。

一体何だ。

「はい。」

彼女はそう言つてその大きな包みを私に渡した。

「えつ 何」

「息子が持つていけって。」

息子つて誰。

確かに彼女には、息子が二人いる。

二人とも優秀で、超難関の公立高校に一人とも通い、  
二人とも現役で国立大学に進んだと聞く。

下の子は確か、あの年下の友人と同い年である。

次男は近くの国立大学の経済学部に入学した。

その直後、両親に向つて、もう少し熱心に教育をしてくれれば  
僕は東大に行けたと思うと宣のたまつた。

彼女も彼女の夫も、放任主義であつた。

塾に通わせたことも、勉強をしろといったこともない。

次男のこの言葉に、夫婦は「アホか！」の一喝で終わつたとか。

夫婦一人の言葉が、同時に発せられたので大笑いのおまけ付きだつたと。

その後、次男は国立大学在学中に公認会計士の資格を取り、両親の大笑い付きの一喝を、静かに払拭した。

その次男が私に、ワインを持って行けと言つたらし。

・・?

・・解けぬ、何も解けぬ。

「どうして？」

仕方なく尋ねた。

完膚なきまでの完敗だ。

何も解からない。

「ふつことの次郎だつて。

ビギナーズラックは貴女に贈りたいんだつて。」

何故に？既に？

思考回路は既に、開通済みだ。

同じことだ。

手間が省けた。

多分、夫も読んでいる。

最近、PCのメンテの甲斐甲斐しいこと。

素晴らしい。

古いノートは最新型のディスクトップに変わった。  
ウイルスチェックも完璧だ。

お陰様である。

PCの「機嫌を伺つてのFXはきつときつこ。

心から感謝あるのみ。

結局、読者は身内のみのようだ。

今日で、最終回にする事にした。

最終の経過報告。

その後、元手73万に20万の追加をして  
確定した利を合わせて、約100万。

少し、体調不良だったふつじ（CHF／JPY）も元気が戻つてき  
た。

損をカバーしてからをスタートとして、

6月16日から26日の11日間で38回の取引。

内、32回がふつじ（CHF／JPY）、5回が〇次郎（AUD／USD）、  
それと（EUR／USD）が1回である。

確定した利益は￥69,493。（内、スワップポイントは￥1,114）

現在手持ちポジションは5つ。  
全てふつじ（CHF／JPY）で合計10万フラン。

含み益は時々刻々と変化している。

現在は8,000円程度である。

これらはもう既に、1週間程持っている。  
その間のスワップポイント￥3,150は確定している。

損切りなし。

これからは、確定した利益に関しては、100万を超えた分は  
出金する。

100万以上を元手にはしない。

この会社でのFXはこれ以上は増やさない。

株と違つてFXは、FX取り扱い会社との取引となる。  
乱立しているFX会社である、破綻するものも出る。

さて、私はこの小説からは足を洗い、  
本腰を入れて、のんびりと、真面目に、

私のFXに取り組むことにする。

{ Good - luck }

The End.

全ての投資は、自己責任で行ってまいります。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4503e/>

---

ありえない、本当の話 その3. FX

2010年10月10日03時36分発行